

ニュースリリース

2023年7月12日

ジェットスター・アジア航空

ジェットスター・アジア航空 沖縄(那覇)とシンガポール、大阪(関西)とマニラを結ぶ日本路線 を再開

- 沖縄(那覇)とシンガポール間の唯一の直行便を運航再開
- 片道 8,990 円の運航再開記念セール運賃で本日 11 時から航空券の販売を開始
- 大阪(関西)＝マニラ＝シンガポール路線も再開
- 日本発着両路線の提供座席数は年間 18 万席以上に



ジェットスター・アジア航空(本社:シンガポール、最高経営責任者(CEO):バラタン・パスパティ、以下:ジェットスター・アジア)は本日、沖縄(那覇)＝シンガポール線の再開を発表しました。同路線は、沖縄とシンガポールを結ぶ唯一の直行便となります。

沖縄(那覇)＝シンガポール線は、年末年始休暇を見据えて 2023 年 11 月 30 日(木)から週 3 便で就航します。当路線の再開により、再び多くのシンガポール人が沖縄を訪れるようになり、地域の経済振興に貢献することを期待しています。

ジェットスター・アジアは、このたびの運航再開を記念して、本日 11 時から jetstar.com で沖縄(那覇)発シンガポール行き片道運賃 8,990 円*の特別セールを実施します。

ジェットスター・アジアの CEO バラタン・パスパティは、以下のように述べています。



「沖縄への低運賃の気軽な空の旅が復活します。沖縄はシンガポールの人々にとって常に非常に人気の高い旅行先であり、お客さまは運航再開を心待ちにしてくださっていました」

「真っ白なビーチ、美しいサンゴ礁、すばらしい料理、豊かな文化など、沖縄は比類ない美しさを誇り、ビーチでリラックスしたい方にもアドベンチャー満載の休暇を過ごしたい方にも、どなたにもお楽しみいただけます。お客様はジェットスターの提供する低運賃で浮いた費用を、沖縄の魅力を余すことなく満喫するために充てることができます。運航再開に向けてご支援いただきました沖縄県、日本政府観光局、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます」

沖縄県シンガポール事務所の池原平所長は、運航再開にあたり次のようにコメントをしました。

「Welcome Back！ Jetstar！ おかえりなさい！ 待ちに待ったシンガポール＝沖縄路線の再開を大変嬉しく思います。直行便再開により、シンガポールから最も近い日本である沖縄との観光や経済交流が活発になることを確信しています。そして、シンガポールを中心としたジェットスターの ASEAN やオセアニア諸国のネットワークを活用し、他の地域から沖縄への誘客につながることを期待しています」

「私たちは、ジェットスター、日本政府観光局 (JNTO)、沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB) と緊密に協力し、より多くの人々がこの沖縄を訪れたいよう、沖縄の魅力を PR していきます」

日本政府観光局 (JNTO) シンガポール事務所の永井初芽所長は、次のようにコメントをしました。

「JNTO は Jetstar の沖縄便の復活を大変嬉しく思っています。JNTO が実施したアンケートによると、沖縄はシンガポールにおいて人気急上昇中の旅行目的地の一つであり、実に回答者の 47% が訪問したい都道府県として沖縄県を選んでいきます。これは、シンガポールで大変人気の高い北海道に次ぐ数字です」

「今回の Jetstar の沖縄への直行便就航は、多くのシンガポール人が待ち望んでいたものであり、沖縄を訪問するシンガポール人数の増加に大きく寄与するものと確信しています。この機を捉え、JNTO は、Jetstar および沖縄県と密に連携し、沖縄の魅力を訴求にさらに力を入れていきます」

ジェットスター・アジアは、2014 年に初めて那覇空港へのチャーター便を運航し、2017 年に LCC 初となる那覇＝シンガポール間の直行便を就航しました。

沖縄県には 160 もの島が存在します。その最大面積を誇る沖縄本島のみならず周辺の島々にも魅力的な観光スポットが多く、アイランドホッピングを楽しみたい人々にとって夢のような場所です。

大阪(関西)＝マニラ＝シンガポール線の運航再開

また、ジェットスター・アジアは 2023 年 11 月 24 日(金)より、大阪(関西)発マニラ経由シンガポール行きの運航を週 5 便で再開し、需要の高まりに対応するため 12 月 30 日(土)からはデイリー運航とします。

ジェットスター・アジアの CEO バラタン・パスパティは、「日本から旅行されるお客さまが、低運賃で人気都市への空の旅を再びお楽しみいただけるようになり、目的地の選択肢が増えることを大変嬉しく思います」とコメントしました。



この2路線を合わせた日本＝シンガポール間の提供座席数は年間18万席以上となります。

沖縄(那覇)からシンガポールへのエコノミークラス「Starter」運賃(注)は片道9,900円～、大阪(関西)からマニラへのエコノミークラス「Starter」運賃(注)は片道12,500円～、大阪(関西)からシンガポールへのエコノミークラス「Starter」運賃(注)は片道23,500円～です。

当路線は、全便をジェットスター・アジアが保有するエアバス A320 型機(180席)で、全席エコノミークラスでの運航を予定しています。

■運航スケジュール(注)

●沖縄(那覇)＝シンガポール線

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K792	沖縄(那覇)＝シンガポール	火・木・日	09:10 発 13:30 着
3K791	シンガポール＝沖縄(那覇)	火・木・日	02:00 発 08:10 着

●大阪(関西)＝マニラ＝シンガポール線

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K764	大阪(関西)＝マニラ	月・水・木・金・日	13:20 発 16:40 着
3K764	マニラ＝シンガポール	月・水・木・金・日	17:40 発 21:20 着
3K763	シンガポール＝マニラ	月・水・木・金・日	02:15 発 05:55 着
3K763	マニラ＝大阪(関西)	月・水・木・金・日	06:55 発 11:35 着

*大阪(関西)＝マニラ＝シンガポール線は2023年12月30日からデイリー運航

注:エコノミークラス「Starter」片道運賃。機内持込手荷物は合計7kgまでとなります。販売座席数には限りがございます(前述の運賃が適用されない日、フライトがございます)。諸条件が適用されます。なお、運航スケジュールは関係機関の認可を前提としています。運航スケジュールは変更となる可能性もございますので予めご了承ください。

(注)2023年冬期運航スケジュール(2023年7月現在)

■セール概要



【名称】	飛べ飛べアジア！ 運航再開記念セール
【セール運賃】	大阪（関西）～マニラ 片道 10,990 円* 沖縄（那覇）～シンガポール 片道 8,990 円*
【セール期間】	2023 年 7 月 12 日（水）11:00～7 月 13 日（木）11:00（日本時間） ※完売次第終了。販売期間は延長する場合があります。
【搭乗期間】	大阪（関西）～マニラ：2023 年 11 月 24 日～2024 年 5 月 21 日 沖縄（那覇）～シンガポール：2023 年 11 月 30 日～2024 年 5 月 21 日 ※関西～マニラは 2023 年 12 月 14 日～2024 年 1 月 8 日、2 月 3 日～2 月 24 日、3 月 27 日～4 月 15 日、4 月 26 日～5 月 6 日はセール対象外です。那覇～シンガポールは 2023 年 12 月 15 日～2024 年 1 月 8 日、2 月 7 日～2 月 19 日、3 月 27 日～4 月 15 日、4 月 26 日～5 月 6 日はセール対象外です。搭乗期間は路線ごとに大きく異なりますので、詳細はセールページにてご確認ください。上記搭乗期間内でも、路線によってはセール運賃が適用されない日・フライトがあります。
【セールページ】	https://www.jetstar.com/jp/ja/deals

*支払手数料、空港使用料、諸税が別途必要です。諸条件が適用されます。燃油サーチャージ（燃油特別付加運賃）は不要です。受託手荷物の料金は含まれません。

※本セールは予告なく中止または変更となる場合があります。

【ジェットスターについて】

ジェットスターは、2004 年に就航して以来国内線および国際線を拡充し、これまで 3 億 5000 万人以上の国内外のお客様にご利用いただきました。ジェットスターグループは、オーストラリアおよびニュージーランドのジェットスター航空（カンタスグループの子会社）、シンガポールのジェットスター・アジア航空、日本のジェットスター・ジャパンから構成されています。ジェットスターは、安全・安心を第一に、より多くのお客様に低運賃で気軽な空の旅を提供すべく日々努力しています。アジア太平洋地域において最も急成長している航空会社ブランドの一つであるジェットスターは、AirlineRatings より「2022 World's Top 10 LCC」に選ばれました。

【沖縄県シンガポール事務所について】

沖縄県シンガポール事務所は、2015 年 4 月に設立されシンガポールを拠点として、東南アジア、オーストラリアとインドにて主に沖縄の観光と物産と PR、文化の発信等を行っています。

【日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所について】

日本政府観光局（JNTO）は、外国人旅行者の誘致活動を行う公的な専門機関です。主要な市場 25 か所に海外事務所を設定しており、シンガポール事務所は 2006 年に開所しました。日本へのインバウンド・ツーリズム（外国人の訪日旅行）のプロモーション以外にも、観光関係の統計や市場動向レポートの発行、インフォメーションセンターを通じた外国人旅行者向けサポートの提供、国際会議などの誘致促進なども行っています。詳しくは、シンガポール事務所のウェブサイトをご確認ください。

<https://www.japan.travel/en/sq/about-singapore-office>